

和歌山 人・もの・地域

和

n a g o m i

Vol.37  
2018

found!  
chain  
stories

特集

知られざる  
紀州人の  
ストーリー

知事対談 中沢新一×仁坂吉伸

Awesome Products in Wakayama [美容鉄]

WAKAYAMA SWEETS (グリーンソフト)

Olympic Stories (前畑秀子)

わかやまに恋した人々 (東牟婁郡串本町)

プレミア和歌山 (一心農園オリジナル プレミアム柿アイス)

祝!

2018年8月14日、白浜のアドベンチャーワールドで  
16頭目となる赤ちゃんパンダが生まれました!  
9月13日(木)から赤ちゃんパンダの一般公開と名前募集を開始。



特集

# 知られざる 紀州人の ストーリー

時間の中に隠れている知られざる物語。  
輝かしいエピソードの後ろで目立たない真実。  
それらの合間にこそ、

重要な事実が佇んでいることもある。

輝かしい命のバトンを繋ぐ物語もある。

明治維新や江戸時代中頃、

そして鎌倉時代から現在まで…。

知っているようで知らないものに溢れている  
紀州人の物語は、こんなにも複雑で面白い。

**found!  
chain  
stories**

小田井用水の中でも最も難工事だったと言われる「龍之渡井」。  
現在のアーチ橋は大正8年に改修されたもの。



## 濱口梧陵×濱口吉右衛門

# その堤防は92年後の TSUNAMIから村を守った

1854年(安政元年)12月。2日連続で起きた安政東海地震と安政南海地震という大地震で、太平洋側で多くの人々が被災した。中でも紀伊半島沿岸部の被害は大きく、新宮などでは震度6以上の揺れが、串本には波高15mにも達する津波が襲来したといわれている。

「ヤマサ醤油」七代目「濱口儀兵衛」を襲名したばかりの「梧陵」は当時35歳。広村(現在の広川町)に帰郷していたその時、大地震に遭遇する。押し寄せる津波に梧陵自身も吞まれるが、辛うじて陸に上がりふと振り返ると、そこには悲惨な光景が広がっていた。あたりは既に仄暗く、津波に流された家屋や木材などにはがみつく人々は、陸の方向すらわからない。そこで梧陵は危険も顧みず、高台にある広八幡神社への避難路を示す明かりとして「稲むら」に火を放ち、村

人たちの救助と誘導を行った。この話は「稲むらの火」として長く語り継がれることとなり、2018年全国初の「防災遺産」として日本遺産に認定された。

そして津波が去った後、梧陵は村人の救援活動と村の再建に奔走する。村人たちは津波の再来におびえ、住むところもなく他所への移住を希望する者も少なくなかった。まずは被災者の食糧のために炊き出しを行い、広村堤防の築造で被災した村人に仕事を与え賃金を支払い、生活を安定させることで人口流出を防ぎたいと考え、被災者住宅の建設、流された道路や橋の修復工事など、本格的な復興事業に取り掛かる。しかし藩からの拠出は見込めず、地元の資産家であった濱口吉右衛門家(通称東濱口家)や岩崎明岳らと協力し、工事に着手。その工費は銀約95貫(金約1.6千両)で、他に

も家屋の新築や広橋の再建などに銀約240貫(金約4千両)を要した。高さ約5m、全長約600mにも及ぶ「広村堤防」の築造開始は地震からなんと3ヶ月後のことであった。東濱口家は濱口儀兵衛家(通称西濱口家)と同族であり、東濱口家が醤油販売を西濱口家が醤油製造を担当するという分業体制を維持してきたという。その後濱口梧陵は藩の勘定奉行や明治政府の初代駅通頭、晋の郵政大臣、初代県議会議長などを歴任するが、地元では濱口梧陵が当主を務めた西濱口家だけでなく、東濱口家や岩崎家に対する感謝を今も忘れてはいない。

そして安政大地震から92年後、昭和21年に発生した南海地震では、波高約4mの津波が再び広村を襲ったが、広村堤防は村の居住地区の大部分を守ったという。



円光寺に古くから伝わる「嘉永7年(安政元年)高浪之図」。当寺21代住職獅絃(しげん)の頃から伝わるが作者は不明。少し漫画のようだが、稲むらに火をつける人や大道を広八幡神社へと逃げる人などが詳しく描かれている。また高波が押し寄せた中央の一本松付近には、杖をつき笠を被った人物が町の様子を見に戻ろうとしているのが見て取れる。小姓を連れていっているところを見ると、梧陵なのか、それなりの地位の人とも思える。

円光寺  
住所/有田郡広川町広1399  
電話/0737-63-1808



濱口梧陵が稲むらに火を放ち、村人を避難させた広八幡神社。標高約12mの境内には、梧陵の功績を讃える「濱口梧陵君碑」が建てられている。

広八幡神社  
住所/有田郡広川町上中野206  
電話/0737-62-2371



濱口梧陵の生家で、現在は濱口梧陵記念館として、生い立ちから晩年までの足跡を見ることが出来る。津波防災教育センターが隣接して建つ。「稲むらの火」に由来して国連により11月5日は、世界津波の日に制定された。

濱口梧陵記念館  
住所/有田郡広川町広671  
電話/0737-64-1760



東濱口家西濱口家の先祖が住職を務めた安楽寺。江戸時代に入り濱口家は醤油醸造に着目。江戸の需要を見越し銚子に醤油蔵を設け、長男は醤油の販売を、次男は醤油の醸造(現在のヤマサ醤油)を行った。

安楽寺  
住所/有田郡広川町広543  
電話/0737-62-3994

広村堤防に2か所ある切り通しのうちのひとつで、通称「赤門」と呼ばれる防潮扉が設置されている。1926年にはじめて設置され、現在のものは1980年に作られたもの。地元の人々の重要な生活道路として使用されている。



広川町広の仲町に建つ東濱口家の住居。主屋は約300年前に建てられ、その後、木造3階建ての御風楼(ぎよふうろう)と呼ばれる迎賓施設が増築された。各階それぞれに異なった趣の景色を楽しめるように設計されており、勝海舟や犬養毅なども来邸したという。特に3階部分はずっとも華やかで格式も高く、雨戸を開けると270度の視界が広がり絶景を楽しむことができる。

東濱植林株式会社  
住所/有田郡広川町広1302-1  
電話/0737-63-2211



重厚な本瓦屋根に、漆喰や船板の外壁などの意匠から往時の雰囲気を感じられる広地区の街並み。東濱口家付近はまるでタイムスリップしたかのような趣を残す。古い街並みには道幅が広いのも特徴的。



薩長出身者が多くの要職を占めていた明治新政府の中で、25歳になった陸奥は伊藤博文と廃藩置県の意見書を発表するなど国政の中核で活躍していた。しかし紀州藩主徳川茂承から強い要請を受け、藩政改革のために紀州に戻り、津田出や濱口梧陵と出会う。津田は陸奥に廃藩置県の構想や四民平等の徴兵制の

重要性を説き、徴兵軍の総指揮官に就任し、日本初の徴兵制による洋式軍隊を設立した。またその財源確保のために石高の高い藩士を中心に大幅に俸給を削減し、プロイセン王国の下士官カール・ケッペンを招聘。当時としては日本最大級である2万人規模の軍を築き上げた。これらは後に明治新政府が実施した廃藩置県や四民平等、国民皆兵の徴兵制のモデルとなったといわれている。さらに津田は殖産興業にも力を注ぎ、洋式軍隊に必要な軍服や革靴の製造も地元で行い、和歌山の地場産業の成長にも貢献した。

紀州藩のこうした改革の成功は、明治政府にとっては脅威でもあったが、津田たちはその手腕を評価され、西郷隆盛らに請われて上京。津田は大蔵省次官に任命され、その後も陸軍少将や元老院議員などを歴任、また濱口も初代駅通頭に就任するなど活躍することになった。陸奥も国政に戻り、大蔵省租税頭に抜擢され、地租改正法案の策定に奔走したが、西南戦争に与した嫌疑をかけられ5年間も投獄されることになった。その間に陸奥は獄中から津田に手紙を書き、公私に渡って協力を願ったという。ようやく赦免された陸奥は、2年余りの外国留学を経て外務省に入省。そして第二次伊藤博文内閣の外務大臣に就任し、江戸幕府が諸外国と締結した治外法権の撤廃と関税自主権の一部回復を内容とする日英通商航海条約の締結に成功した。

新しい時代の幕開けに活躍したのは「カミソリ大臣」陸奥だけではなかったのだ。

陸奥宗光は勘定奉行まで務めた紀州藩の重職、伊達宗広の六男として生まれた。しかしその父は藩内の政争に敗れて失脚し、一家は困窮した生活を送ることとなる。そんな中15歳になった宗光は奮然し上京。その後、神戸に開校した勝海舟の海軍操練所で坂本龍馬と出会い、亀山社中や海援隊に参加。そこで才覚を開花させ、龍馬も一目置く存在となり活躍の場を世界へと広げて行く。

老院議員などを歴任、また濱口も初代駅通頭に就任するなど活躍することになった。陸奥も国政に戻り、大蔵省租税頭に抜擢され、地租改正法案の策定に奔走したが、西南戦争に与した嫌疑をかけられ5年間も投獄されることになった。その間に陸奥は獄中から津田に手紙を書き、公私に渡って協力を願ったという。ようやく赦免された陸奥は、2年余りの外国留学を経て外務省に入省。そして第二次伊藤博文内閣の外務大臣に就任し、江戸幕府が諸外国と締結した治外法権の撤廃と関税自主権の一部回復を内容とする日英通商航海条約の締結に成功した。

新しい時代の幕開けに活躍したのは「カミソリ大臣」陸奥だけではなかったのだ。

# 幕末と明治維新、激動の中 新世界の礎を作った紀州人たち

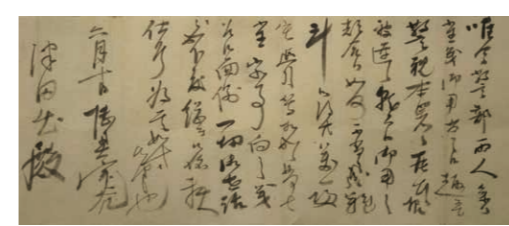


【陸奥宗光像】  
和歌山城近くにある岡公園に建つ陸奥宗光像。

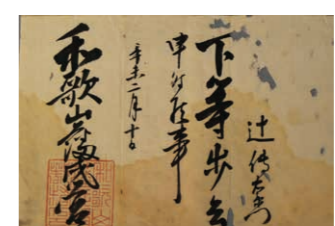


代々紀州藩の御典医を務めた郭(かく)家の七代百輔(ひやくすけ)が自宅に建てたベランダコロニアルスタイルの診療所。奥座敷として利用されていた茶室棟が、陸奥宗光(伊達家)の生家の一部だと伝わっている。百輔は洋式軍隊の初代軍医も務め、総指揮官だった陸奥や津田らとも顔見知りであった可能性も高い。文明開化期の洋館は全国的にも貴重で現在登録文化財に登録されている。  
郭家住宅  
住所/和歌山市今福1-6-6

【紀伊徳川洋式演武之図】  
カール・ケッペン(Carl・Cöppen)による軍事演習の様子を表す図。兵士はすべて洋装の軍服を着用し銃器を使用していることが見て取れる。(和歌山県立博物館蔵)



【陸奥宗光書状】  
明治11年。陸奥が警察に連行される際に書いた津田への書状。帰宅できなかった場合に家族の世話を頼むなど二人の信頼関係がみとれる。(和歌山県立博物館蔵)



【交代兵辞令】  
藩内全ての20歳男子を調べ、3年間の兵役につかせた。日本で最初の徴兵制である。(和歌山県立博物館蔵)



天保3年(1832)和歌山市で生まれた津田出(写真左)。安政元年(1854)江戸で蘭学を学び、蘭学教授を務めた。(和歌山県立博物館蔵)

find!  
Tsuda  
event

和歌山市内にある旧家の蔵から、津田出の関連資料41件92点が発見され、その後購入者から2018年8月17日に和歌山市に寄贈された。これを機会に地元の偉人、津田出を多くの人に知ってもらおうと、和歌山県立博物館では、玄関ホールでの無料公開を実施。朝敵と咄められた紀州藩第14代藩主・徳川茂承の功績を称えた津田出直筆の「詠徳川中納言(とくがわちゅうなごんをえいず)」などの貴重な資料が展示される予定。

ホール展示「津田出」(仮称)  
展示場所/玄関ホール(無料)  
11月6日(火)~25日(日)  
  
和歌山県立博物館  
場所/和歌山県湊本町3-2  
電話/073-423-0003

## 和歌山が生んだ文豪、津本陽さんを偲んで…。

陸奥宗光の生涯を描いた「叛骨」を読む



昭和4年(1929年)に和歌山市に生まれ、昭和53年(1978年)に和歌山を舞台にした『深重の海』で第79回直木賞を受賞。武道への知識も深く、自ら剣道三段、抜刀道五段の腕前を持つ。歴史や剣豪、冒険、幕末英傑を主題にした歴史小説が多く、2010年には陸奥宗光の青春時代を描いた『荒ぶる波濤』(PHP研究所)を出版、2018年5月に惜しまれつつも89歳でこの世を去った。

『叛骨』は陸奥宗光の不遇だった青年時代から盟友ともいえる龍馬の死など、近代日本を創った男の怒濤の前半生と近代日本外交の礎を築いた波瀾万丈の生涯を描いた上下巻。



叛骨(上・下)陸奥宗光の生涯/潮出版社



享保の改革を実行し、中興の祖として名高い江戸幕府第8代將軍・徳川吉宗。質素節約を實踐し、「目安箱」の設置、能力があれば身分など気にせず重用するなど積極的な人材登用も行った。また新田開発なども推し進め、財政に直結する米相場を中心に改革を行ったことから米將軍とも呼ばれた。その重責を担い、「紀州流」という工法を用いて「見沼代用水(埼玉県)」などを普請し、吉宗と幕府の財政を支えたのが「井澤弥惣兵衛」である。

夜にやける」といわれるほど水の便が悪く、水争いが絶えない地域だった。その上、その地域は紀の川より標高が高いため、紀の川の水を引くかんがい工事は容易ではない。そこで、井澤が協力を仰いだのが土木の天才と呼ばれ、多くの難工事を完成させてきた「大畑才蔵」だった。大畑はまず測量を行い、詳細な図面と計画を立てる。受益地域を最大限広げるため総延長は約32・5kmにもなり、3000〜5000分の1という緩い勾配で水路を作る必要があった。また作業日数を短縮するために工区を分け、同時に工事を進める必要があり、そのためにも非常に正確な測量が必要とされた。その測量のために用いられたのが大畑が考案したと伝わる、「水盛台」で

ある。それは常に水平を保とうとする水の普遍的性質を利用したもので、これを元に約32・5kmにもおよぶ気が遠くなるほどの距離の測量を行った。また谷川と用水路がぶつかる箇所では「伏越や渡井」という工法で立体交差させるなど高度な技術を駆使した。その後、大畑は高齢のために引退するが、井澤はこうした実績を評価され、吉宗と共に関東で活躍することとなった。

【亀池】

小田井用水築造後、井澤弥惣兵衛の故郷である海南市に造られたため池(1710年竣工)。堤の高さは16m長さは98m。貯水量は58万㎡にもなり、竣工以来300年間、地域の農業を支えてきた。写真左に写っているのは、井澤弥惣兵衛の記念碑。

# 月夜にやける? 紀の川北岸に 治水の神様の奇跡を見る



小田井用水によって、紀の川北側では1000ヘクタールを超える新田から多くの米が収穫できるようになった。平成29年、小田井用水はその重要性が再認識され世界かんがい施設遺産に登録された。(橋本市、かつらぎ町、紀の川市、岩出市)



龍之渡井上部は見学できるようになっており、今も豊かな量の水が周囲の農地を潤し、地域の人々の生活と密接に繋がっている様子を身近に感じることができる。小田井用水には、龍之渡井以外にも木積川渡井(こづみがわとい)、小庭谷川渡井(こにわたにがわとい)、中谷川水門(なかたにがわすいもん)の4施設が国の登録有形文化財に登録されている。



大畑才蔵が持ち歩いた通い箱(橋本市郷土資料館蔵)



上/水盛台の使用方法などが書かれている大畑才蔵直筆の手帳。右/実際に大畑が使った折りたたみ尺と墨壺。

橋本市郷土資料館  
住所/橋本市御幸辻786  
電話/0736-32-4685

【龍之渡井(たつとい)】  
和泉山脈から紀の川に流れる穴伏川の上を通る「掛渡井」。谷と両岸の高低差が大きく、固い岩盤があったため、小田井用水の中でも最も重要な場所で難工事だったといわれている。逆に川の下に水路を埋めて水を流す工法が「伏越」と呼ばれ、現在は逆サイフォン方式と呼ばれている。大畑が築造した当初は木造だったが、大正8年(1919)にレンガ・石張り造りのアーチ式の橋として改修された。

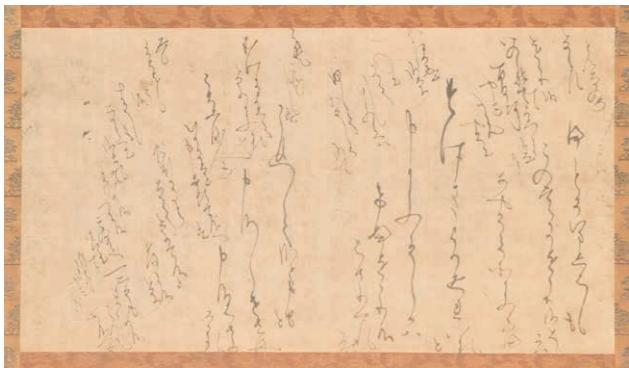
【水盛台(みずもりだい)】  
大畑才蔵が考案したといわれている竹と木で作られた測量器具。中央の筒部分から水を注ぎ、水平なら両方の竹筒から水があふれ、傾いていると、低い方からのみ水があふれる。そして低い方に楔を打ち込み高さを合わせて水平にし測量するという。(海南市歴史民俗資料館蔵)



上/埼玉県にある見沼通船堀は、日本最古の閘門式運河でパナマ運河よりも約180年も前に井澤によって造られた。右/井澤の評価は関東でも高く、さいたま市緑区の見沼自然公園には井澤弥惣兵衛の銅像が建てられている。写真提供/海南市歴史民俗資料館  
海南市歴史民俗資料館  
住所/海南市木津233-23  
電話/073-487-3808







伝西行法師書状(弘川寺蔵) / すけがたより、から始まる、西行筆と伝わる消息(=音信・手紙)。書風には流麗さ軽快さが見られる。平安時代に書かれたもの。



西行物語絵巻断簡(館蔵) 那智の滝 西行物語絵巻、は、西行の出家から全国への流浪の旅を続けたのち、入滅するまでの生涯を描いた絵物語。本図は1500年に制作された図を江戸時代に写本されたもので、白衣の山伏姿の西行が那智の滝の前で佇む場面が描かれている。

花や月をこよなく愛し、新古今和歌集には最多の94首が選ばれている西行。宮廷内ではなく、心の赴くまま旅し、山里に庵を結び歌を詠んだ。そんな姿から「漂泊の歌人」といわれ、今も多くの人々の心を掴んで離さない。

本名は佐藤義清といひ、元永元年(1118年)、現在の和歌山県紀の川市を拠点に活躍した裕福な豪族の家に生まれた。15歳になると京都で宮仕えをはじめ、鳥羽院の北面の武士にもなり、武芸にも秀で歌の才能も認められていたことから、将来を嘱望されていた。しかし23歳の時に、妻子だけでなく全てを捨てて突然出家する。その姿勢は歌に対してストイックともいえるが、妻子を捨てるなど自分勝手なように映るかもしれない。しかし浮世のしがらみを捨て、心のおもむくまま諸国を巡り歌を詠った西行のミステリアスな生き様も、人々を惹きつけてやまない理由のひとつかもしれない。



西行は32歳で高野山に上山し、以降30年ほど高野山を本拠にした。かつらぎ町天野の里には高野山の氏神・丹生都比売大神(にうつひめのおおかみ)が鎮座し、高野山の避暑所でもあった。堂は天野の里をたびたび訪れた西行の徳を慕った里人によって建てられたもの。何度も再建され現在の堂は、1986年に再建されたもの。

西行堂  
住所 / 伊都郡かつらぎ町下天野  
電話 / 0736-22-0300 (かつらぎ町観光協会)



龍蔵院から500mほど離れた国道424号沿いに立てられた西行法師像



全国各地へ遊行の旅に出、多くの歌を詠んだ西行は、高野山〜天野に長く庵を結び、和歌山で80首もの歌を残した。左図は西行が歌を詠み残した場所。



西行法師が生まれたとされる佐藤城の跡地に建つ龍蔵院(りゅうそういん)。境内には生誕石碑も立てられている。

龍蔵院  
住所 / 紀の川市竹房152



# 白浜でパンダが生まれました！

16頭目の



赤ちゃんパンダを愛おしそうに抱きかかえる良浜。授乳だけでなく、舐めて排泄を促したり、綺麗にしたりするなど子育ても慣れたもの。

生まれたばかりの赤ちゃんパンダは、まだ毛も生え揃っていない。



8月14日(火)、白浜町でジャイアントパンダの赤ちゃんが誕生。わずか75gで生まれた小さなパンダの成長は、スタッフが一丸となって繋ぐ命のバトンの物語。



ジャイアントパンダ飼育スタッフは、獣医などを除き全員で8名。毎朝夕のミーティングでは、赤ちゃんパンダだけでなく永明や良浜など合計6頭のパンダたちの健康状態などが報告され、情報を共有する。



日本一の大家族、6頭のジャイアントパンダが暮らす同施設。パンダラブ、では双子パンダの「桜浜(おうひん)・桃浜(とうひん)」と2年前に生まれた「結浜」が暮らし、ガラス越しではない生パンダに出会えると大好評。

アドベンチャーワールド  
住所 / 西牟婁郡白浜町堅田2399  
電話 / 0570-06-4481 (ナビダイヤル)

Panda was born!



中国を除き世界最多である15頭のジャイアントパンダの繁殖に成功した「アドベンチャーワールド」。このパンダの聖地ともいえる白浜町に、16頭目となる可愛い赤ちゃんパンダが生まれた。出生時の体重は75g、全長15.5cmと同施設で過去最小。当初は自力で母乳を飲むことができず、保育器に入れて飼育スタッフが授乳をサポート。体温調整に気を使いながら24時間体制で健康状態を見守る。赤ちゃんパンダの誕生は結浜以来約2年ぶり、母パンダの良浜にとつては9頭目、父パンダの永明にとつては15頭目の赤ちゃんとなる。

「見た目は可愛いのですが、成長すると力も強くなり危険なので檻越しの間接飼育になります。また元々の生息環境は低地域域なので、飼育環境の温度管理には気を使っています。世界的にも希少な動物ですが、なぜそうなの

たのかその原因や対策など、そういう背景まで興味をもってもらいたいですね」とパンダ飼育歴11年の先輩飼育員遠藤倫子さんは語る。「私にとつては初めてのパンダ担当で非常に緊張しています。とはいえ赤ちゃんパンダの直接な世話ではなく、他のパンダたちの世話や観察記録を行っています。パンダの妊娠は分かりにくく、今まで積み重ねられてきた観察記録がなければ、今回の妊娠兆候もわからなかったかもしれない」と中谷有伽さん。

赤ちゃんパンダは現在(9月14日時点)、出生時の約10倍である773gに成長。自ら体温調整もできるようになり、今では1日の半分以上を良浜と時間を共にする。良浜の愛情の深さは疑いようがないが、世界最多のパンダ繁殖の影には、飼育スタッフたちの詳細な観察と愛情に満ちた飼育体制があった。

find! Saigyō event

## 西行法師生誕900年記念 西行

紀州に生まれ、紀州をめぐる

平成30年10月13日(土)~11月25日(日)

平成30年は西行法師が生まれて900年の記念の年を迎える。紀州が生んだ歌人西行にまつわる文化財を一室に集め、和歌山に残した足跡と共に、西行の事績を振り返る特別展示展を開催。また「西行 再発見!」として連続講座を期間中の土曜日に開催。



和歌山県立博物館 WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM

住所 / 和歌山市吹上1-4-14  
電話 / 073-436-8670





# 知事対談

中沢新一 × 仁坂吉伸

思想家・人類学者

和歌山県知事

驚異的な記憶力を持ち、破天荒な行動力で世界中を駆け回る。  
人類の知性の限界にまで到達した紀州人。

# 和歌山の偉人 南方熊楠とは

**仁坂知事(以下仁坂) ● 中沢さん**は、明治大  
学特任教授・野生の科学研究所長として人  
類学・民俗学を中心に、人間の心の構造を明  
らかにしようとする研究を続けられていま  
す。また和歌山県の輩出した偉人「南方熊楠」  
について中学生の頃から関心を寄せられ、  
熊楠に関する著書も多数執筆されています。  
そして2016年にはこれまでの研究業績  
が認められ、田辺市・南方熊楠顕彰会主催の  
「第26回南方熊楠賞」を受賞されました。

**中沢新一(以下中沢) ● 受賞は本当に嬉し  
かったですね**。僕の親父は民俗学をやって  
いて、自宅には石像の写真や古い土器がた  
くさんあり、それらに囲まれて育ちました。  
だから縄文土器なんか見ると、作っていた  
人たちの心理まで分かるような気がして…。  
そして中学生の時、熊楠の本を見つけたの  
ですが、それがものすごく面白い。キュー  
バ革命では銃弾飛び交う中、一緒に戦った  
とか、孫文と交流があったとか書かれてい  
て、民俗学者の柳田國男も、早くから熊楠  
の才能を認めていたほどで、「こんな面白い  
人が本当に日本にいたの?」と親父に聞い  
たんですね。そうすると「にわかには信じられ  
ないけど本当らしい」といんです。当時、  
熊楠の本は随筆集や十二支考などわずかな  
ものしか出版されていませんでしたが、そ  
れ以来、とにかくよく読みましたよね。熊  
楠は僕のヒーローでした。

**仁坂 ● 世界を股に活躍した熊楠は帰国後、  
田辺に住居を構え晩年まで過ごしますが、**

かなり変わった方だったようですね。(笑)  
しかし田辺の人たちは、「偉い先生」だと尊  
敬しながら親しくしていたようですよ。

**中沢 ● 僕の研究人生において、「南方熊楠は  
かなり大きな部分を占め、森のバロック」の  
執筆中には何度も田辺市を訪れました。そ  
して居宅の隣にある蔵に研究のために入ら  
せていただき、中瀬喜陽先生の案内で書庫を  
見学しました。当時はまだ南方熊楠顕彰館  
もなく、ほとんど手付かずの状態でした。**

**仁坂 ● そうなんですか。それで蔵の中はや  
はり、無秩序な様子だったのでしょうか。**

**中沢 ● それがそうでもなく、まさしく熊楠  
の頭の中」などと感じました。とはいえ前  
面にセクソロジー関係の本がずらっと並ん  
でいて(笑)。**

**仁坂 ● 熊楠だから整理されていないが、そ  
の無秩序の中でもパツと必要な資料を出せ  
るんじゃないかと思ひまして。**

**中沢 ● それはその通りです。手紙などを見  
ると分かりますが、まるで星雲というか銀  
河というのか、どこから読めばいいのかわ  
からないぐらいですが、目を凝らしてよく  
見るとちゃんと秩序があるんですね。書庫  
の中もまるでそういう感じでした。**

**知性が爆発? 人類の限界?  
超人、熊楠の魅力とは**

**仁坂 ● 熊楠の魅力とは何なのでしょう。そ  
して彼はいつた何者なのでしょう。**



上/大きな敷地内には熊楠が晩年暮らした居  
宅や倉庫などがほぼ原型に近い形で再現されて  
いる。蔵の中は見た目は雑然としながらも、まる  
で熊楠の頭の中のように整理されているようだ  
と中沢氏は語る。(南方熊楠邸・田辺市)  
左/縦横無尽に文字列が並ぶ十二支考腹稿。ど  
こから読めばいいのかわからない。(南方熊  
楠記念館所蔵・白浜町)

上/昭和天皇が神島を訪れた際、熊楠は粘菌や  
海中生物についての御前講義を行い、田辺付近  
産の動植物の標本をキャラメル箱に入れて献  
上したという。  
右/若かりし頃の熊楠はかなりのイケメン。  
(共に南方熊楠顕彰館所蔵・田辺市)





**中沢** ●民俗学や神話に詳しく、世界的にも権威のある学術雑誌「ネイチャー」に発表していた論文などを見ると、それはもう間違いない当時の世界的レベルの学者だと思います。しかしそれは碩学だとか研究者たちでもできることですが、熊楠は違うラインで突き抜けている人だと予感がしていたんです。勉強ができるとか記憶力がいいだとか、そんなものを超えた所にいる天才で、ある瞬間、「焔めく時」が訪れるんですね。それは後の真言宗・高野山管長となる土官法龍と交わした書簡の中に記録としてきちんと残っています。それはものすごい記録で、熊楠が那智山中にこもっている最中に、脳とか知性が爆発しているんです。それは人類史の中でも相当貴重で、人間の知性ってここまでいくんだなって所まで到達しています。しかしそれを本にし

# 知事対談

## 中沢新一 × 仁坂吉伸

思想家・人類学者 和歌山県知事

説明するのに時間がかかりました。「森のパロック」の段階でようやく7割ぐらいいでしょうか。しかし「違う。こんなレベルではない」とずっとそういう予感がしていて、僕が60歳を超えた時に、「熊楠の気付いたことはこういうものだったんだ」とようやく言えるようになりました。

**仁坂** ●それはどういふものですか？

**中沢** ●熊楠は「南方マンダラ」というものを書いています。人間が「モノ」を考える際、脳のニューロンが活性化しますが、そういう「モノ」を超えたものが人間にはあると「南方マンダラ」の中で唱え、そしてそれを探求する方法は仏教だといふんです。

**仁坂** ●そういえば中沢さんは仏教の修行のためにチベットに行っていますね。

**中沢** ●そうです。僕は若い時から自分の研究を進めるにあたり、おぼろげですが、そういう思考に至るためには仏教が重要だと思っていました。人類学を研究しても限界があり、その先に行くにはどうしたらいいか？と考えた時に、仏教を学ばなければならぬと思っていたわけです。言い換えれば心の探求法なんです。ヨーロッパの心理学だとなかなか熊楠のようなその先には行けない。スイスの心理学者ユングなど、あるレベルを超えている研究者は何人かいますが、それを求めるには仏教しかないと思ひ、出家をしようとして30歳を前にチベットに行きました。それは日本でいうところの密教で、



その先生は在家のまま修行する行者でしたが、その修行は出家した僧侶より高度なことをやっていたんです。そしてその先生は、僕が求めているのは出家ではなく、精神探求の勉強であることを初めて対面した時から気付いていたんです。仏教には人間の脳の仕組みを超えて行くような能力があり、具体的な形もあるんだとその先生はしきりに言うんです。熊楠も仏教には人間の能力を超える力があると書簡の中で語っています。

**仁坂** ●さすが中沢新一論。漠然とは分かりますが、なかなか難解です。

**中沢** ●みんな分からないといふんです。書けば書くほど分からないと言われるんですよ。それはそれで孤独です(笑)。

## 熊楠が生まれ没した和歌山とはどんな所？

**仁坂** ●中沢さんは和歌山にどういう印象をお持ちでしょうか。

**中沢** ●田辺市には、熊楠が昭和天皇にご進講した神島があります。また紀南地域は自然も豊かで、熊楠が言い残してきたことを忠実に守り、森林などを開発から保護してきました。熊楠の意思と街が一体化しているような気がします。また丸石様の存在があります。山梨県と静岡県との川沿いには、神様として丸い石をお祀りする風習があるのですが静岡で途切れます。その丸石を調査して歩いてみると、再出現するのが和歌山のすさみあたりなんです。村の神というか既存の神社と

### 中沢新一(なかざわしんいち)

1950年(昭和25年)生。山梨県出身。東京大学大学院人文科学研究科博士課程満期退学。思想家・人類学者。チベットで仏教を学び、帰国後、人類の思考全域を視野にいれた研究分野(精神の考古学)を構想・開拓する。著書に『森のパロック』(読売文学賞)、『緑の資本論』、『精霊の王』、『アースダイバー』(桑原武夫学芸賞)、『芸術人類学』、『野生の科学』、『日本文学の大地』など多数。近著に『熊楠の星の時間』、『俳句の海の潜る』(小澤實との共著)がある。これまでの研究業績が評価され、2016年5月に第26回南方熊楠賞(人文の部)を受賞。



森のパロック/著者：中沢新一/講談社学術文庫  
熊楠の星の時間/著者：中沢新一/講談社選書メチエ

は関係なく、もつと古い神様なんですよ。それが川筋ごとに祀られてありました。植物が豊かに育ちその木々の根元に丸石を祀る。その時僕は紀州という所はとつても不思議なところだなと思ひました。

**仁坂** ●熊楠が熊野の山中を歩き回っていた頃は、もつと色んな不思議があったのじゃないですか。熊楠が保護を訴えた明治の神社合祀だけでなく、戦後の住宅難や紙需要でものすごく木材需要が高まり、和歌山の山々は猛烈な勢いで植林され、当時とは変わっているかもしれない。熊楠が、それでも和歌山の自然は豊かです。

**中沢** ●随分昔に大辺路や熊野三山を歩いた記憶があるんですが、植物相がすごく豊かなことに気がきました。また古座川にも行きましたが非常に綺麗だった。

**仁坂** ●そうですね。しかし「瀧の拝」などがある支流は、もつと綺麗ですよ。

**中沢** ●また「アースダイバー」といふ本の執筆のため、古代の遺跡を追っていました。そしてある時、東京タワーがある芝浦付近に多くの「鈴木さん」が住んでいるのに気がしました。他にも多摩川沿いの村落や、東海の伊豆、羽田村あたりにも鈴木が多い。調べてみると鈴木姓の発祥は和歌山で、ある時期以降、紀州から大量の漁民として移住し、江戸時代にはさらに多くの鈴木さんが移り住んだようなんです。

**仁坂** ●房総半島などに和歌山と同じ地名が多いのもそういう事なんじゃないですか。また鈴木姓はもとより、醤油や古式捕鯨、鯉の一本釣りや鯉節なども和歌山が発祥なんです。はじめは和歌山なんです。しかし紀州人は何でもすぐ教えちゃう(笑)。

**中沢** ●古式捕鯨というのは、鯨を捕るだけでなく加工プロセスまであり、日本人の自然観や生き方などを凝縮したようなもので、日本におけるマニユファクチャー(工場制手工業の原点だといふ人もいます)。このシステムは京都の西陣織り工程の手法となり、そしてそれは戦艦の零戦の製造工程にまで進化したそうです。

**仁坂** ●それは面白い。日本のマニユファクチャー発祥の地でもあるわけですね。実は明治維新の原点も和歌山にあるのではといわれています。紀州藩は陸奥宗光や津田出の活躍により、明治新政府に先駆けた藩政改革を実施しました。特に四民皆兵の徴兵制やプロイセン士官を招いた洋式軍隊の創設は、その評判を聞きつけた西郷隆盛が、津田出に新政府の総理になつてくれなにかとまで言ったそうです。そして廃藩置県や地租改正といった近代日本の礎となる施策に大きな影響を与えました。南方熊楠をはじめ、これら和歌山の偉人達は和歌山県民の誇りでもあります。本日はお忙しい中、誠にありがとうございます。



# 美容鋏

鋏、の命はその切れ味。美容鋏<sup>ハイス マックス</sup> HYS MAX67は、加工が極めて困難だといわれるHRC67という高硬度の素材を使用し、抜群の切れ味と耐久性を誇る。切れ味を決める刃と刃が合わさる角度や、ハンドル部分に施された<sup>クレーター</sup>と呼ばれる多面性の加工は、クラフトマンが自ら金槌で叩き、勘と熟練の技で調整し、製品に命と美しさを吹き込む。黒く妖しげに輝く表面は、ダイヤモンドに近い特性をもつ非結晶コーティング。美しさだけでなく耐薬品性も高いのが特長。



切れ味を左右する加工では、クラフトマンの技量が試される。その手に持つ金槌も独特の美しさを秘めている。

1992年創業以来、自社製造・自社販売というスタイルを守り続けているハヤシ・シザーズ。お客様の声を直接聞き反映させていくことで、製品はさらに進化していくという。

**有限会社ハヤシ・シザーズ**  
 場所／和歌山市手平6-5-74  
 電話／073-427-0913  
[www.hayashi-scissors.com](http://www.hayashi-scissors.com)





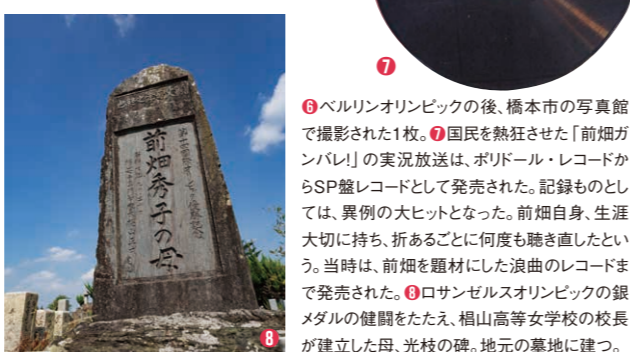
# 伝説の実況放送「前畑ガンバレ！」 紀の川が生子、そして鍛えた 日本人女性初の金メダリスト

「前畑ガンバレ！ガンバレ！」。1936年8月11日深夜、ベルリンオリンピック競泳女子200m平泳ぎで、前畑秀子(結婚後は兵藤)がアッドヒートを繰り広げる。その姿を伝える男性アナウンサーの実況中継に、日本中の人々が固唾を飲む。そしてゴール。日本中で湧き上がる歓声。日本人女性初の金メダリストが誕生した瞬間だった。

前畑は、世界遺産・高野山の麓、橋本町(現在の橋本市)の豆腐屋を営む両親の長女として生まれた。生家の真裏に流れる雄大な紀の川は、前畑と共に出場した小島一枝、メルボルンオリンピック(1956年)の金メダリスト古川勝を初めとする多くの

オリンピック選手を育ててきた。前畑は3歳のころから両親の背中に乗って水泳を覚え、中学一年生になると、100m平泳ぎの日本女子新記録を更新。体育教育に力を入れる相山高等女学校(現・相山女子学園、名古屋市内)に編入することとなる。

そして両親の相次ぐ死去という悲しみを乗り越えて臨んだ1932年のロサンゼルスオリンピック。女子200m平泳ぎでは、わずか0.1秒という差で2位となり、念願の銀メダルを獲得した。しかし、国民は強く金メダルを熱望したことから、「やり始めたことは、最後まで」という生前の母の言葉に従い、ベルリンオリンピックに向けて1日2万mを泳ぐ猛練習



1 前畑たちを育てた紀の川。力強い川の流が水泳の練習にむいていたのだろうか。2 紀の川に飛び込もうとする前畑(左)。3 生家があった辺り。国道24号線沿いに民家や商店が並ぶ。4 橋本市郷土資料館には、当時ののぼりや国内大会のメダルなど、ゆかりの品々が大切に保管されている。5 ラジオで前畑の優勝が伝えられると、通りや駅前には大勢の人が繰り出し、相賀八幡神社まで提灯行列が行われた。



6 ベルリンオリンピックの後、橋本市の写真館で撮影された1枚。7 国民を熱狂させた「前畑ガンバレ！」の実況放送は、ポリドール・レコードからSP盤レコードとして発売された。記録ものとしては、異例の大ヒットとなった。前畑自身、生涯大切に持ち、折あるごとに何度も聴き直したという。当時は、前畑を題材にした浪曲のレコードまで発売された。8 ロサンゼルスオリンピックの銀メダルの健闘をたたえ、相山高等女学校の校長が建立した母、光枝の碑。地元墓地に建つ。

1 橋本市郷土資料館蔵 2 橋本市まちの歴史資料保存会提供

## ベルリンオリンピックに 決死の覚悟で挑む

「優勝できなかったら、帰りの船から飛び込んで死ぬしかない」。そんな決死の思いで臨んだベルリンオリンピック。前畑ガンバレ！と23回連呼されたアナウンサーの実況とともに金メダルを獲得。表彰台で涙する22歳の前畑の目には、悠々と流れる紀の川の「天然プール」の姿が浮かぶ。それは前畑が通っていた小学校の先生たちが川底に杭を打ち、コースロープを張って造ってくれた即席のプールだった。「紀の川があったおかげで(中略)水泳選手になれた」と著

書「前畑ガンバレ」の中でも綴られている。その後引退した前畑は、小さな子供を持つ母親向けの水泳教室を開くなど、積極的に水泳の普及や後進の指導にも力を注いだ。

母校の橋本市立橋本小学校を訪ねると、そこには誇らしげに前畑たちの写真が飾られ、地元の偉人の功績を、子供たちにも語り継いでいきたいと小林孝光校長は話す。また水泳一筋に生きた前畑の物語をNHK朝の連続ドラマ小説にという活動も進められている。市民らでつくる「前畑秀子朝ドラ誘致実行委員会」の鈴木利夫事務局長は、「2020年の東京オリンピックを前にぜひ実現させたい」と意

## OLD & NEW WAKAYAMA SWEETS



上/「グリーンソフトの味を持ち帰りたい」という要望から生まれたグリーンソフトロール。中/老舗として、お茶も豊富に扱う。下/本社併設の飲食店「グリーンコーナー本店」。ソフトのほか、天かす入りのラーメンも和歌山のソウルフードとして人気。



香ばしい抹茶と甘さをおさえたクリームが絶妙にマッチ。カップを上下させながらひねりをきかせる巻き方も発売当時のままだ。

## 老舗茶屋の誇る元祖抹茶ソフトクリーム 和歌山の定番スイーツとして60年 「グリーンソフト」一和歌山市

淡い緑色のクリームを二口紙めると、さっぱりした甘味と爽やかな抹茶の風味が広がる。安政元年(1854年)創業の老舗茶屋が誇るグリーンソフトは、多くの和歌山県民に親しまれ、県外に転出した人も帰省の度にこのソフトを食べたくなるという。

発売は、高度経済成長期の昭和33年。暑さでお茶の消費が落ち込むお茶屋の夏枯れ対策として生まれた。ソフトクリーム自体が珍しく、さらに抹茶味のスイーツ自体がまだ無かった時代。誰もが初めての味ということもあり、出足はふるわなかった。しかしこどもの日に無料配布するなどの地道なPRが実を結び、いつしか地元を代表する味覚に。しかし抹茶を石臼で挽くなど、味へのこだわりは今も変わらない。

## NOSTALGIC MEMORIES



〔元グリーンコーナー本店〕

上>和歌山市最大の繁華街「ぶらくり丁」にあったグリーンコーナー本店。買い物帰りにグリーンソフトを食べるのは、地元の子どものたのびやかな習慣だった。

下>お茶葉などが並ぶ店頭を抜け、少し奥まった所にあったグリーンコーナー。



〔昭和39年当時のグリーンコーナー〕



## 玉林園(ぎょくりんえん)

場所/和歌山市出島48-1(本社)  
電話/073-473-0456





東牟婁郡串本町  
柴田香衣さん  
SHIBATA KAI  
兵庫県から移住



本州最南端に位置する串本町。昔はさつまいも栽培が活発に行われていたという。その中でも、実がオレンジ色で糖度が高い芋は「サイパン芋」と呼ばれ、珍重されていた。しかし時代の流れと共に栽培面積は減り、幻のさつまいもと呼ばれていたが、近年になりその美味しさを忘れないようにとJA紀南が中心となり復活。「なんたん蜜姫」というブランドで販売を始めた。

その「なんたん蜜姫」の美味しさを多くの人に知ってもらおうと、「なんたん屋」という加工場を立ち上げ起業したのが柴田香衣さんだ。「無農薬農業をしたい」という両親と共に兵庫県から串本町に移住し、高校の3年間を和歌山で過ごしました。その後は大阪の専門学校に進学し、国内のあちこちでアルバイトを経験しましたが、東日本大震災以降、都

会での生活に疑問を感じ、将来的に食物、エネルギーの自給をしていきたい気持ちもあり、馴染みのあった串本に根を下ろそうと移住を決めました。移住して5年、本格的な農業の経験もなく起業も初体験。両親や移住後の友人などの助けも借りながら生活環境を整えた。「同じことだけをやり続けられない性分。自給自足に近い田舎暮らしは未体験の連続。そんなライフスタイルが合っているのかもしれない。」

潮岬の畑で「なんたん蜜姫」を栽培し、大島の加工場でミルクジャムやタルトを作る。イベントなどにも積極的に参加し、自分で少しずつ販路を開拓。さらに夏の数ヶ月だけキャンプ場でアルバイトもする。「田舎には仕事がないよ！ってよくいわれますが、実際はその反対。やることはいっぱいあります」と柴田さんは楽しそうに語った。

## 復活した「なんたん蜜姫」をタルトやジャムなどのスイーツに加工



友人や両親などに手伝ってもらいながら、飲作りや苗植え、収穫も基本的には自分で行う。この畑で1トンほどのなんたん蜜姫を収穫することができるという。保育所が休みの時は木ノ葉ちゃんもお手伝い。

### 受け入れ施策 Come on!

移住者の暮らしをバックアップするため、和歌山県ではさまざまな支援制度を整備している。柴田さんが利用したのは、移住後に新たに起業をする人を対象にした移住者起業補助金(最大100万円)。ほかにも空き家改修補助(最大80万円)などの支援がある。また、移住希望者を対象にした現地体験会も定期的に開いている。詳しくは→<https://www.wakayamagurashi.jp/how-to/support/>

自然な笑顔で楽しそうに暮らす。



友人や両親に手伝ってもらいながら古民家を改修。お風呂は薪でも炊けるように改造したのだとか。一人娘の「木ノ葉ちゃん」だけでなく、番犬の「ウメちゃん」も人懐っこい。肩肘を張らず自然に暮らす柴田家には、笑顔が絶えない。



人気の商品、①なんたん蜜姫タルトと②なんたん蜜姫のミルクジャム。③柴田さんが描くオリジナルキャラクターの脱力感もナチュラルで可愛い。④なんたん蜜姫ベーグルにはマッシュしたお芋がぎっしり。朝食にも◎!ミルクジャム以外は卵と乳製品不使用。



美味しい食材を美味しく届けたい。

### なんたん屋

住所/東牟婁郡串本町大島20-2  
電話/090-9278-3686  
<https://www.facebook.com/nantanya0328/>



気温が下がる冬は、適切に保存しておかないと「シビる」=腐る。こともある。コンテナに厚めの毛布などを被せて保存するが、基本はシビる前に加工してしまう方がいいので、冬は忙しいと語る柴田さん。

## My Favorite Scene 串本町ってこんなところ!

串本町は潮岬が雄大な太平洋に突き出た、自然豊かな本州最南端の町。黒潮が陸地近くを流れ、温暖な気候のせいかな人情味も豊か。海も山も川も近く、海の幸も山の幸も新鮮で美味しい。さらには橋杭岩や大島の海金剛など観光名所もいっぱい。



橋杭岩は串本のランドマーク。雄大な自然が築いた絶景。串本のどかな時間は、散歩も小川での水遊びも子育てには最適。



田並駅近くにある「田並劇場」。利用されなくなった劇場跡を復活させたのは柴田さんの友人の林さんご夫妻。こちらも東京からの移住者。



天気の良い日は、潮岬の望楼の芝でリフレッシュ



なんたん屋の商品を販売する潮岬近くのパン屋 Biggiさん。他にも串本町のAcoopでも販売を開始する予定。



海風が心地いい、ここは本州最南端の町。



焼き芋にすると糖度が40度にもなるとか、おうちより甘い「なんたん蜜姫」はJA紀南の登録商標。



# 東京で見つけた 和歌山ゆかりのお店



おすすめの一品は、「古座川産本州鹿・背肉のロースト、古座川産黒にんにくのソース」。中まで優しく火を通し、酸味と甘み、そして黒にんにくの香りが食欲をそそる。

## わかやまの自然が育てた 味わい芳醇なジビエの一皿

「美味しい食材を求めて和歌山県に行き、自然や食材が豊かな古座川町でこのジビエに出会いました。処理施設の設備も整っているので安心でき、肉自身がそれほど大きくなく扱いやすいということで、すぐメニューに取り入れました」と語るのはピストロボンファムの富山勉オーナーシェフ。ソースには古座川産の黒にんにくを使う。「黒にんにくの甘み

とコクがいいですね。料理人としてテロワールを考えると、同じ地域のものを使いたくになります。なにより相性がいいですからね。」



1988年、20歳の時に当店で料理人としてデビュー。その後先代オーナーからお店を引き継いだ。

### Data ▶ピストロ ボンファム

住所／東京都港区赤坂1-3-13  
電話／03-3582-0200  
心温まるアットホームな店内。肩肘張らず家族や気の合う仲間たちとゆっくり、美味しいフレンチを味わいたい。



## 取材をバックアップします！

和歌山県では、メディア関係の皆様へ取材への積極的な協力・現地情報の提供等を行っています。

- お問い合わせ
- 和歌山県広報課  
TEL. 073-441-2032 FAX. 073-423-9500  
e-mail/nagomi-waka@pref.wakayama.lg.jp
  - わかやま紀州館  
東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館B1F  
TEL. 03-3216-8000 FAX. 03-3216-8002  
e-mail/kishukan@wakayama-kanko.or.jp

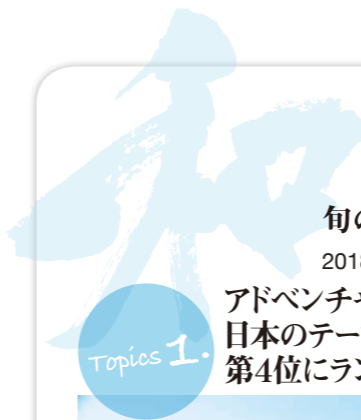
- 和歌山県フォトライブラリー(写真貸出)  
http://wave.pref.wakayama.lg.jp/photo/
- 和歌山県PR動画(動画素材貸出)  
https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000200/media/
- 和-nagomi-バックナンバー  
https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000200/nagomi/

**ふるさと和歌山応援寄附**  
和歌山県の「ふるさと納税」がとってもお得にパワーアップ！  
1万円以上の寄附で和歌山を味わえる「梅干し」や「醤油」など、プレミアム和歌山の商品54品の中から贈呈！(県外にお住まいの方が対象)  
※詳しくは、ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」をご覧ください。  
https://www.furusato-tax.jp/city/product/30000



企画・発行／和歌山県  
発行日／平成30年9月28日  
企画編集／サンケイ広告(株)  
制作／(有)YS'pros  
印刷／中和印刷紙器(株)

「和-nagomi」は、古紙配合率70%以上の再生紙、大豆インキを用いて制作しています。



## 旬の和歌山情報をお届けします 2018 vol.37

### アドベンチャーワールドが 日本のテーマパークランキング 第4位にランクイン!

Topics 1.



世界最大の旅行サイト「TripAdvisor®」(トリップアドバイザー)が7月26日に発表した「トリップアドバイザーの口コミで選ぶ 世界の人気テーマパーク2018」(対象期間2017.1~2017.12)において、本県のアドベンチャーワールドが、「日

本のテーマパークランキング」第4位、「アジアのテーマパークランキング」第8位に初めてランクインしました。白良浜のビーチや泉質抜群の温泉地としても有名な白浜町にある「アドベンチャーワールド」は、今年で開園40周年を迎える動物園、水族館、遊園地が一体となったテーマパークで、ジャイアントパンダやイルカをはじめ、さまざまな動物たちや自然とふれあえる施設として知られ、観覧車やジェットコースター、ゴカートなど、大人から子供まで楽しめるアミューズメント施設として、日本だけでなくアジアでも評価されました。

問い合わせ／和歌山県観光振興課 電話／073-441-2775

Topics 2.

### 「世界津波の日」2018高校生サミットin和歌山の開催について ~「稲むらの火」発祥の地で 濱口梧陵の精神を共に学ぶ~

11月5日の「世界津波の日」は、津波の脅威と対策について理解と関心を深めることを目的に、2015年12月の国連総会において全会一致で採択されました。この日が採択されたのは、安政元年11月5日、安政南海地震による津波が現在の和歌山県広川町を襲った際、先人である濱口梧陵が稲むらに火をつけ、津波から逃げ遅れた村人を高台へ導いて多くの命を救った

「稲むらの火」の故事にちなんだものです。梧陵はその後も、村人を雇い莫大な私財を投じて村の再生を支援し、将来の津波に備えて堤防を築いたことで、昭和21年12月の昭和南海地震による津波の被害を最小限に抑えることができました。「世界津波の日」高校生サミットは、地震津波等の災害から国民の生命、身体等に及ぼす影響を最小化できる国土強靱化を担う将来のリーダーを育成することを目的に創設され、本年は濱口梧陵が生まれ活躍した和歌山に過去最多の日本を含む世界49カ国、約400人の高校生を招いて開催します。



(8月22日に行われた記者会見の様子)

問い合わせ／和歌山県世界津波の日高校生サミット推進室 電話／073-441-2702



## 一心農園オリジナル プレミアム柿アイス

販売者／一心農園(製造者)／(株)カワ  
住所／伊都郡九度山町九度山936-3  
電話／0736-54-9050  
道の駅「柿の郷くやま」内に産直市場よって販売中



和歌山県優良県産品(プレミア和歌山)推奨制度  
安心・安全を基本に幅広い分野で優れた県産品を「和歌山らしさ」、  
「和歌山ならでは」の視点で推奨する。

### 残間里江子審査委員長

和歌山は自然豊かで、おいしいものがたくさんあります。毎回審査が楽しみです。



# 甘熟柿の味わいをアイスに凝縮

柿の生産量全国一を誇る和歌山県。その主要産地、九度山町で育った柿の味わいを、アイスにギュッと凝縮した「プレミアム柿アイス」。ミルク仕立てのアイスクリームに自家製あんぽ柿の果肉を入れ、化学肥料を使わずに育てた富有柿のジュレをさらにプラス。とろけるようなジュレと、ゼリーのような食感の果肉、濃厚なアイスクリーム。その味わいは、「どうせ作るなら徹底的に柿の味にこだわろう」と工夫しました。自然の恵みと家族の愛情を受けて育った富有柿の美味しさを季節を問わず多くの人に届けたい」と、一心農園の元家恭子さんが語る。



アイスは夫、秀詞さんと共に、3年がかりで開発。その秀詞さんは平成28年の発売を見届けるように北へ出てきた。農園を継ぐ長男の代目の良輔さんは父が情熱を傾けた商品を家族で守ってきたいと語る。



# 「たま駅長」大明神鎮座3周年 メモリアル写真展開催!



この日、ニタマ駅長もたま大明神に怒られないよう、多くのファンの方々と、記念撮影や握手に大奮闘。たま駅長に成り代わって楽しいオープニングセレモニーとなりました。



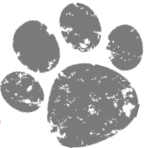
まだまだ「たま駅長」にはかなわないにやー。少しでも追いつけるようこれからもがんばるにやー!

「たま駅長」が大明神としてたま神社に鎮座して3年が過ぎる中、今もなお海外からも注目を集め、名誉永久駅長として貴志川線の存続を陰日向に支えてくれています。この鎮座3周年を記念して、8月10日に貴志駅でたま駅長、ニタマ駅長、よんたま駅長の三駅長そろい踏みの可愛いメモリアル写真展が開催されました。

お問い合わせは、和歌山電鐵(TEL.073-478-0110)へ。駅長たまのツイッター @ekichoTAMA [よんたまちゃんの貴志駅長代行勤務日] ニタマ駅長の公休日(水・木曜)に貴志駅にて勤務しております。

# 元気日記

ep.08



ぼくがレポートするよ!

和歌山県 PRキャラクター 「きいちゃん」

## 和歌山のスーパーアイドル、ニタマちゃんとパンダちゃんたちの近況報告



2000年9月にアドベンチャーワールドで初めて誕生したジャイアントパンダの良浜(18歳)。今では永明との間に9頭の子供を持つ立派な母親となりました。  
※今回生まれた赤ちゃん/パンダと飼育員さんたちの物語は、P10をご覧ください。



白浜生まれのパンダには「浜」の字がつき「浜家」と呼ばれる。大黒柱の永明は、家族の中で一番のグルメなのだとか。

## 永明父さん、世界最高齢の繁殖記録を自ら更新

2018年8月14日(火)午後10時32分、ジャイアントパンダの「永明」と、「良浜」との間に、「結浜」から2年ぶりとなる赤ちゃんパンダが誕生しました。これにより永明は26歳で15頭の父親となり、飼育下の自然交配で繁殖に成功した世界最高齢の記録を自ら更新しました!

お問い合わせは、アドベンチャーワールドインフォメーション(ナビダイヤル.0570-06-4481)へ。公式ツイッター @aws\_official ホームページ <http://aws-s.com/>